

校長室からつぶやき・・・ 『ツイート』新聞



宇美町立宇美南中学校
第2号
文責 校長 熊本 寿美
令和3年4月20日(火)

堂々の宣言に拍手。入学式「誓いの言葉」に込める思い



9日の入学式では、新入生を代表して大脇らんるさんが誓いの言葉を述べました。述べてくれた四つの目標には、ポジティブで肯定的な考えが示されています。緊張の中での発表でしたが、大きな声としっかりした口調で堂々の発表でした。私たち職員も、この南中生としての誓いに心から拍手を送り、これからの成長を応援していくことを誓った入学式となりました。

【誓いの言葉より】

中学校生活を送るにあたり、四つの目標があります。

一つ目は、努力することです。中学校で習う学習や部活動、委員会活動の仕事、その一つずつに対して手を抜かずに努力したいです。

二つ目は、協力することです。困っている人がいたら助ける、誰の話でも理解できるようにじっくり話を聞くなど、相手の気持ちになり、優しさをもって人と接するようにします。

三つ目は、決まりを守ることです。宇美南中学校の一員として、学校で決められた時間や期日などの約束を守っていきます。

四つ目は、楽しむことです。日々の学校生活を充実したものとできるように、真剣にそして、みんなと協力して楽しく取り組んでいきたいです。

小学校での学びが南中で輝く1年生の姿。

入学式からの1年生の姿には、小学校での学びで身に付けた態度や力が発揮されています。話す人に正対して傾聴する姿勢、問いかけに適切に返答するやりとり、朝の出席確認の時の返事と挙手、靴がそろえられた靴箱やロッカーの美しさなど、中学校に入学してすぐに行えている姿は、小学校で身に付けた態度と行動力です。小中が連携して行っている腰骨タイムや黙働掃除においても、すでに南中生としての行動が行えています。大変素晴らしく、これから様々な経験を積むことで、これらの行動がさらに磨かれていくことと、今後の成長への期待がふくらんでいます。さらには、13日(火)に実施した生徒会小中あいさつ運動にも1年生がたくさん参加してくれました。小学校の時にしてもらっていたことを、中学生になって自ら行う意欲と貢献の行動は、とても輝いています。卒業した先輩の姿を原田小学校のみなさんは、頼もしく感じ、明るい元気なあいさつをしてきていたように思います。1年生の新たな中学校生活での「挑戦」の一日一日が充実しています。



「鍛えて・ほめて・励まして」 南中生のよさや頑張りが輝く学校づくり